

トラウマインフォームドケア (TIC)

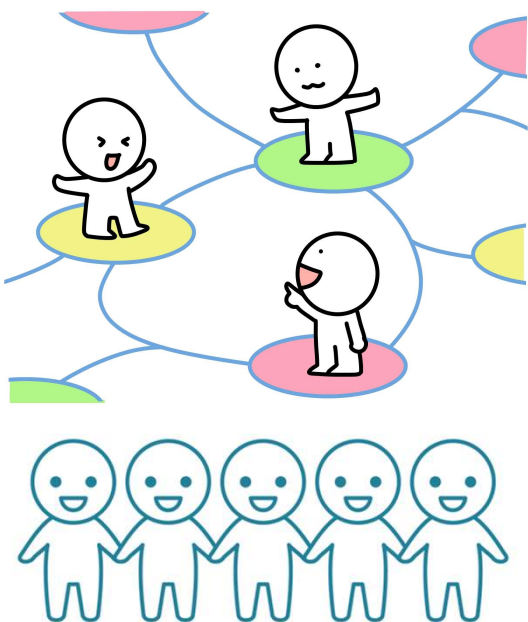
の理解と福祉現場での対応

「こころのケガ」となるトラウマや逆境を体験した子どもたちは、さまざまな心身の不調をかかえ、対人トラブルを起こしたり、生活が不安定になったりすることが少なくありません。

なぜトラブルが起こるのか、支援者が十分に理解するだけでなく、子ども自身も理解していなければ、繰り返されるやり取りに疲弊し、お互い自信を無くしてしまうことにもつながります。

そうならないために、まず支援者が「こころのケガ」に気づき、適切な対処法を取ることがとても大切です。

大人が関わることでさらなる傷つき体験（再トラウマ）を生まないよう、子どもに関わるすべての支援者に知っていただきたい研修内容となっています。



R7 **10/21** (火) 開催
9:30~16:30

こころのケガ（トラウマ）につながるできごと

- ・虐待
- ・いじめ
- ・病院での痛い治療
- ・災害、事故
- ・人がいる前で叱られる
- ・兄弟と比べられる
- ・両親の不和
- ・嫌いなものを力づくで食べさせ続けられる
- ・容姿を批判される
- ・転園、転校
- etc...

-内容-

- ・トラウマインフォームドケアとは
- ・トラウマによる“こころのケガ”とその影響

- ・トラウマのメガネをかける準備体操
- ・トラウマのメガネをかけて考えてみよう

- ・しなやかに生きるための内的・外的資源
- ・関わりの基本

対象 児童養護施設・保育園・認定こども園
・放課後等デイサービス・児童館 など
子どもの支援に携わる職員

定員 60名 ※申込多数の場合は、神戸市在勤・在住の方を優先して抽選いたします。

受講料 6,000円（事前振込み）

会場 こうべ市民福祉交流センター

- 各線「三宮」駅下車、徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」下車、徒歩7分
- 市バス7系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ

📍 (左の二次元コードでGooglemapへ移行します)



講師

酒井 佐枝子 氏

(公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
兵庫県こころのケアセンター 研究部長)

人間科学博士。臨床心理士・公認心理師。

大阪大学大学院連合小児発達学研究科准教授を経て、2020年度より現職。

発達障がい児とその養育者への関係性構築支援、子ども虐待防止・再発予防における養育者支援に加えて、近年は子どもの環境としての支援者に対するトラウマインフォームドケア研修の普及に携わっている。



**9/24
締切**

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 **市民福祉大学**

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター

TEL 078-271-5300 FAX 078-271-5365

お申込みはこちら

<https://www.shiminfukushidaigaku.jp/training/>

※お知らせいただいた個人情報は研修にかかる事務以外には使用しません。

市民福祉大学 🔍

